

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公表番号】特表 2004-529012(P2004-529012A)  
 【公表日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-037  
 【出願番号】特願 2003-503909(P2003-503909)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 7 N 3/04

B 2 7 N 3/14

E 0 4 C 2/12

【F I】

B 2 7 N 3/04 C

B 2 7 N 3/14

E 0 4 C 2/12 E

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 16 日 (2004.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高められた機械的・テクノロジー的特性を有し、長さが少なくとも 7.0 m であり、  
 厚さが 12 mm ~ 50 mm であり、比重は湿度が 0 % の場合に最大で 700 kg / m<sup>3</sup>  
 である、大型の、多層の OS - プレート (1) において、  
 プレート (1) は、圧接されて結合剤を有するストランド (5) の少なくとも二つの層  
 (2、4) のから成り、カバー層 (2、4) のストランドは、130 mm ~ 180 mm の  
 長さ、10 mm ~ 30 mm 幅と、0.4 mm ~ 1.0 mm の厚みを有しており、かつ、  
 主負荷方向における曲げ弾性係数は、少なくとも 7000 N / mm<sup>2</sup> である、  
 ことを特徴とする、大型の、多層の OSB - プレート。

【請求項 2】

プレート (1) は、少なくとも 2.5 mm の厚みを有している、ことを特徴とする請求項  
 1 に記載の OSB - プレート (1)。

【請求項 3】

プレート (1) は、28 mm ~ 42 mm の厚みを有している、ことを特徴とする請求項  
 2 に記載の OSB - プレート (1)。

【請求項 4】

プレート (1) は、少なくとも 2.60 m の幅を有している、ことを特徴とする請求項  
 1 から 3 のいずれか一項に記載の OSB - プレート (1)。

【請求項 5】

プレート (1) は、少なくとも 2.80 m の幅を有している、ことを特徴とする請求項  
 4 に記載の OSB - プレート (1)。

【請求項 6】

プレート (1) は、奇数の層 (2、3、4) から成る、ことを特徴とする請求項 1 から  
 5 のいずれか 1 項に記載の OSB - プレート (1)。

【請求項 7】

プレート(1)は、三つの層(2、3、4)から成る、ことを特徴とする請求項6項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項8】

外側のカバー層(2、4)は、プレート(1)の長手方向にストランド(5)の優先的な方向性を有しており、かつプレート(1)の中間層(3)のストランド(6)は、認識可能な方位付けなしで方向を定められている、ことを特徴とする請求項1から7のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項9】

1つおよび/または複数の中間層(3)のストランド(6)は、直接隣接する外側の層(2、4)の目標方向性に対して90°変位された配置を有しており、最大偏差は±30°であることを特徴とする請求項1から8のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項10】

中間層(3)のストランド(5)は、90mm～180mmの長さを有している、ことを特徴とする請求項1から9のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項11】

外側のカバー層(2、4)の少なくとも1つのものの厚みは、プレート(1)の厚み全体の少なくとも30%であることを特徴とする請求項1から10のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項12】

プレート長さは、少なくとも11mであることを特徴とする請求項1から11のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項13】

結合剤として、尿素-ホルムアルデヒド-接着剤(UF)、メラミン-ホルムアルデヒド-接着剤(MF)、フェノール-ホルムアルデヒド-接着剤(PF)あるいは、イソシアン酸塩ベースの、あるいはアクリル酸塩ベースの結合剤が使用されることを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項14】

結合剤として、メラミン-尿素-ホルムアルデヒド-接着剤(MUF)またはメラミン-尿素-ホルムアルデヒド-接着剤(MUF-P)が使用されることを特徴とする請求項13に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項15】

結合剤として、請求項13と14に挙げられた結合剤の少なくとも2つからなる混合物が使用されることを特徴とする請求項13または14に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項16】

結合剤の割合は、乾燥質量である木に関する固体である結合剤として計算して、6%～18%である、ことを特徴とする請求項1から15のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項17】

プレート(1)は、膨潤特性を減少させるためにパラフィンおよび/またはワックスを含んでいることを特徴とする請求項1から16のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項18】

湿度0%におけるプレート(1)の比重は、最大で650kg/m<sup>3</sup>であることを特徴とする請求項1から17のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項19】

プレート(1)は、一体的、かつ、継ぎ目無しに大きい面積を形成し、かつ建築部品(10、20)の一部であることを特徴とする請求項1から18のいずれか一項に記載のOSB-プレート(1)。

【請求項20】

プレート（１）は、家屋の壁構造の一部を形成し、プレート幅は階の高さに相当し、プレート長さは壁長さに相当する、ことを特徴とする請求項１９に記載のＯＳＢ－プレート（１）。

【請求項２１】

プレート（１）は、１５ｍまでの長さで、２．８ｍまでの幅を有している、ことを特徴とする請求項１９または２０に記載のＯＳＢ－プレート（１）。

【請求項２２】

請求項１から２１のいずれか１項に記載の少なくとも２つのＯＳＢ－プレート（１）を有する建築部品（２０）において、

プレート（１）は、互いに少なくとも部分的に接着されている、ことを特徴とする建築部品。

【請求項２３】

プレート（１）は、互いに、全面で、接着されている、ことを特徴とする請求項２２に記載の建築部品。

【請求項２４】

プレート（１）は、大面積かつ継ぎ目なしに結合されており、少なくとも１つの階を包括的に支持する壁構造を形成する、ことを特徴とする請求項２２または２３に記載の建築部品（２０）。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５０】

樹皮を剥がれた松の幹から、約１４０ｍｍの長さ、１０～３０ｍｍの間の幅および０．５～０．６ｍｍの間の厚みを有するストランドが形成される。微細材料は、可能な限り、分離される。次の乾燥は、ストランドの水分含有量を３から５％の間の値まで減少させる。接着の前に、ふるい装置によって微細材料割合が減少される。接着は、接着ドラム内で行われ、約７．０重量％（木乾燥質量に関する固体樹脂）のＰＭＤＩが混合された。